

なぜ株式会社なのか？

全ての人が資本家であり経営者であるような企業

前節の決まり文句を、もう一度、繰り返します。

パソコンとインターネットを使いこなす人々は今までの人々が考えもしなかった事を普通に出来るような人々です。

今現在の世の中では大部分の人が勤め人（サラリーマン）です。資本家や経営者は少数です。しかし、パソコンとインターネットを使いこなす未来型の企業では全ての社員が資本家であり経営者であるような運営の仕方が可能になります。何故なら、

パソコンとインターネットを使いこなす人々は今までの人々が考えもしなかった事を普通に出来るような人々だから、

です。

投資や経営の本質は結局のところ如何に情報を扱いこなすか、……という一点に尽きます。

情報処理の技術と知識が最も活用出来るのは投資や経営の分野です。

車が移動する為の道具であるのと同じ意味で、パソコン・インターネットは情報を処理する為の道具です。

私が考えている「パソコン・インターネット教室」の最終目標は教わっている生徒さん全員が投資や経営に関する最新の技術や知識を当たり前のように持っている状態に指導する事です。それは決してトンデモナイ夢物語なんかではありません。

今から30年前、現在のように女性を含めた殆どの成人が車を運転する社会を予想する人は極めて少数でした。

……以上、……

抽象的な理屈を長々と並べて参りましたが、ここで申し上げた事を実際に試してみる方法は極めて簡単です。山上自治会が運営するパソコン・インターネット教室に参加する人々の全員が、その事業の株主になる事、……それだけです。

出資金の額は千円～1万円程度を考えています。

山上自治会が運営するパソコン・インターネット教室は近い将来、東証1部またはジャスダックへの上場を目指して事業を展開していきます。その目標設定は

決して無茶苦茶なものではありません。古くはグーグルやアマゾンやヤフーや楽天、近くはツイッターやフェイスブックの例を持ち出すまでもなく、インターネットの世界では、小さな事業があつと言う間に巨大な事業にまで成長するという事件は過去に何度も起っています。

全国の自治会が行う事業には、それと同等あるいはそれ以上の急速で巨大な成長の可能性はあるはずで

もう一度、

……以上 ……

今回の概要説明は4月の総会でお話した時に私が考えていた事の最も基本的な部分を出来るだけ短い記事として纏めて表現させて頂きました。

このニュース紙について最初に申し上げた事と重なりますが、この企画全体につきましても今回の概要説明に対する皆様の反応を拝見して今後の対応を考えさせて頂きます。

